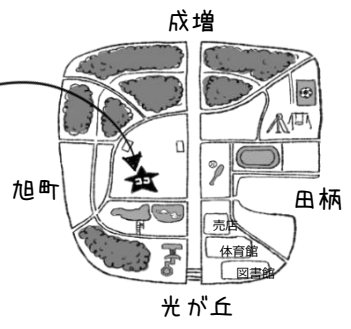


光が丘プレイパーク通信

毎週日曜日 10時~17時開催
赤ちゃんから大人まで 誰でも遊べるよ
参加無料・いつ来て いつ帰ってもOK!

開催場所
都立光が丘公園
芝生広場南側



秋だよ! プレイパークで思いきり遊ぼう!!

このプレイパークは、子どもたちの遊び場です。
たき火、穴ぼり、基地づくり
ロープでつなぐたりやブランコ、ハンモック!
どろんこになるのも楽しいぞ!
何をして遊ぶかは子ども次第!
いろんなことやってみよう!

ネカメでも大丈夫。
プレイリーダーがいるよ。
やってみたいこと、
わからないこと
なんでも聞いてね!

プレイリーダー
あきちゅ



モッキロープ

滑車ロープ

基地づくり

木工

木の突
コロコロ

スライダー
土反りバツ

たき火

おち葉にダイブ!

プレーパーク、ここが“いいね”！！

その1. ドキドキわくわくする遊びができる！

大人の方に、「今でも覚えている、子どもの頃に楽しかった遊びは何ですか？」と質問すると、多くの方が、ドキドキわくわくした冒険的な遊びの思い出を話していただけます。そしてその冒険の多くが、屋外の自然との触れ合いを通して行われています。

穴を掘って大きな落とし穴をつくったこと、数人で力を合わせて木の上に秘密基地をつくったこと、どんぐりを焼いて食べたり、石を磨いて宝物にしたり、虫を探して探検したこと。聞いている人までドキドキするような楽しさです。

プレーパークでは同じように子どもたちの冒険心をくすぐる環境です。

その2. いつでも遊べる仲間がいる！

「公園に行っても一緒に遊ぶ子がいない」というのが最近の子ども事情です。外で一緒に遊びたくても、みんなそれぞれ習い事をしていたり、家でゲームをしていたり…。

プレーパークはいつでも子どもが集まって、園・学校や年齢も違う子が一緒に遊んでいます。

子どもが集まれば、トラブルは日常茶飯事。もめて、折り合いをつけて、また遊び出す。そんな子ども同士の体験を日々積み重ねながら、生きる力の基礎をたく丈夫に育てていきます。



その3. 満足するまで遊び続けられる！

誰かがつくった「光る泥団子」。きれい、私も作りたい!と思ったAちゃん。見よう見まねで、土を丸めて乾かして、魔法の布(=ナイロン製の切れ端)で丁寧に磨いています。すると、Aちゃんが座っていた傍の木の上から「下にある紐とってー」とBちゃんが声をかけてきました。紐と泥団子を持って木の上に登ると今度は秘密基地ごっこが始まります。Aちゃんの光る泥団子を見た他の子が、「これ、基地の宝にしよう!」と言い出し、みんなで悪者から宝を守る作戦会議が始まります…。

遊びは、何かに憧れたり興味をもったりすることで始まったり、誰かの「いいこと思いついた!」のアイデアで進化したりして続いていきます。遊びが終わる合図は、お腹が空いた腹時計や日が暮れ始める夕焼け空。遊び終えた子どもの顔は、満足気で清々しく「あー楽しかった。また遊ぼうね!」と言って、走って帰ります。

プレーパークは10時から夕方17時まで開催しています。遊びに来る際は、どうぞ十分に遊び続けられるよう時間を確保してください。今日楽しかったから、明日もきっと楽しい。明日を信じる子ども時代を過ごしてほしいのです。



プレーパークって!?

自然豊かな都立光が丘公園の一角で、NPO法人と地域の大人たちが協力して、毎週末に開催している「地域の遊び場・みんなの居場所」です。

プレーパークは、通常の公園では禁止の穴掘り、焚火、木登り、水遊びなどができます。バケツ、スコップ、ロープ、布、工具、スケボー、コロ車など、自由に使える道具を用意しています。さらに、水や土、虫、生き物、木の実など、魅力的な自然もたくさん!「こんなことはじめて!」「すっごく楽しい!また来るー」という声が、小さな子から大きな子、さらに大人の方からも聞こえてきます!

大人の方へお願い

プレーパークでは「自分の責任で自由に遊ぶ」が合い言葉の市民活動で、何をして、誰と、どうやって遊ぶかを考えて決めるのは子ども自身だと考えています。子どもは、自由に主体的に遊びながら、様々な力を蓄えていきます。

また、プレーパークは、大人と子どもと一緒に、楽しい時間を共有したいとも考えます。

そこで、大人の方へお願いです!子どものやる事がもどかしくても…好きなようにやらせてあげてください。遊びの世界には、正解も失敗ありません。また、大人の方も遊んじゃう!もOKです。夢中に遊ぶ大人の姿は、子どもの遊び心を刺激します。

Q&A

Q、子どもだけで遊べる?

A、小学生は子どもだけで遊びに来てOKですが、未就学児は保護者の方同伴をお願いします。

Q、持ち物は?

A、汚れてもよい服と靴がおススメ。着替えもあると水遊びや泥遊びも安心。お弁当を持ってきたら公園の中どこでも食べられます。



Q、プレーリーダーってどんな人たち?

A、一言で表すと「子どもがいきいきと遊ぶことのできる環境をつくること」といえます。子どもの興味や関心を引き出すよう、直接的に関わったり、遊び道具を揃えたり、安全管理をしたりしています。光が丘プレーパークには専門職のプレーリーダーの他、研修を受けた地域の保護者が活躍する地域プレーリーダーや学生プレーリーダーがいます。

発行：NPO法人PLAYTANK
住所：練馬区旭町1-16-1
Mail：contactus@gmail.com
HP：<https://playtank.tokyo/>

光が丘
プレーパーク
Instagram



Follow us
@playtank.tokyo